

再評価結果（平成30年度）

担当課：道路整備課

担当課長名：土井 正吉

事業名	一般国道193号 海川谷バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	徳島県
起終点	自：徳島県那賀郡那賀町海川字上カイカワ 至：徳島県那賀郡那賀町海川			延長	2.4km	
事業概要	当路線は、香川県高松市から徳島県那賀郡那賀町を経由し、海部郡海陽町に至る幹線道路で、「第3次緊急輸送道路」に指定されている。当該区間は地域の住民生活を支える重要な道路であるが、幅員狭小で線形不良区間も連続し、交通の隘路となっていることから当該事業により安全で円滑な交通を確保する。					
平成11年度事業化	—		平成11年度用地買収着手	平成11年度工事着手		
全体事業費	31億円		事業進捗率	48.1%	供用済延長	0.69km
計画交通量	600台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体)	1.0		総費用 (残事業)/事業全体	14.0/36.9億円	
	(残事業)	1.8		事業費：13.7/36.4億円 維持管理費：0.3/0.5億円	総便益 (残事業)/事業全体	24.5/37.5億円
感度分析の結果	【事業全体】			【残事業】		
	交通量	: B/C=0.9~1.1 (交通量 ±10%)		交通量	: B/C=1.6~1.9 (交通量 ±10%)	
	事業費	: B/C=1.0~1.1 (事業費 ±10%)		事業費	: B/C=1.6~1.9 (事業費 ±10%)	
	事業期間	: B/C=1.0~1.0 (事業期間±1年)		事業期間	: B/C=1.7~1.8 (事業期間±1年)	
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・防災・減災効果：大型車すれ違い困難区間の解消(最小幅員3m→標準幅員7m)や線形不良箇所の解消。 ・周辺地域の効果：主に林業を中心とした木材搬出ルートへのアクセス向上。 ：徳島県南部圏振興計画による周辺地域との連携強化。 					
関係する地方公共団体等の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・地元那賀町を含む「四国横断線改良促進期成同盟会」から早期整備を求める要望を受けている。 					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<ul style="list-style-type: none"> ・平成17年3月：鷲敷町・相生町・上那賀町・木沢村・木頭村の5町村が合併し那賀町が誕生。 					
事業の進捗状況、残事業の内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度までの供用区間は全延長2.4kmのうち約0.7km。 ・残事業はトンネル(2基)を含むバイパス及び現道拡幅の約1.2km(不施工区間0.5km)。 					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<ul style="list-style-type: none"> ・落石危険箇所の早期解消を目指し、現道拡幅区間を優先して整備を行い、現道の安全性確保と整備効果の早期発現を図る。 					
施設の構造や工法の変更等	<ul style="list-style-type: none"> ・線形改良計画を局部的な現道拡幅計画に見直し、事業費の削減を行った。 					
対応方針	見直して事業継続					
対応方針決定の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えている。 					
事業概要図						

※ 総費用、総便益とその内訳は各年次の価格を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。